



四葉のクローバーは、葉の一枚一枚に意味があります。Faith（誠実）、Hope（希望）、Love（愛）、Lucky（幸運）。これらがそろって Genuine（真実・本物の力）を表します。また、自然界では10万分の1の確率でしか発見できない為、希少価値が高く、見つけると幸運をもたらすといわれています。このような意味から、三園福祉園の広報誌を「クローバー」と名付けました。

平成30年度 成人祝賀会 & 芸術鑑賞会

1月11日（金）、三園福祉園にて『成人祝賀会』と『芸術鑑賞会』が開催されました。

午前には『成人祝賀会』で、今年度の新成人はアドベンチャーグループの方が一名。式典は西浦園長の挨拶から始まり、卒業校である板橋特別支援学校から頂いた祝電が読み上げられた後、スライド上映へと進み、スライド上映では幼少期から現在までの写真とともに、ご家族からの愛情のこもったお手紙を職員が代読させて頂きました。普段と違う雰囲気や正装で若干緊張気味でしたが、新成人の抱負の言葉では「作業や運動を頑張ります！エイエイオー♪」と元気一杯に抱負を述べられていました。



最後に、在園利用者の方からお祝いの言葉と花束贈呈、家族の会と園より記念品を贈呈し、暖かな拍手の中、式典は終了しました。成人おめでとうございます。



午後は、『芸術鑑賞会』を開催しました。今年は、何度か演奏していただいたことのある『WOOD LAND』さんがマリンバとピアノの構成でジブリやディズニーソング等、皆さんが耳にしたことがある曲を中心に演奏してくださいました。また、スティールパンというドラム缶から作られたと言われている音階のある打楽器の演奏を披露していただき、皆さんも楽器を手に取って一緒に楽しそうに演奏され、間近で生の演奏を聴く良い機会となりました。



障がい者週間記念行事販売報告

昨年12月8日（土）、板橋区グリーンホールにて障がい者週間記念行事が行われ、三園福祉園は販売に参加しました。当日は、自主製品販売の他、スタンプラリーの景品として布製品である「ティッシュカバー」を提供し、当選者の方にお渡ししました。また来場された利用者の方が販売のお手伝いをしてくれたり、三園の地域に住まわれている方が声を掛けてくださったりと、記念行事と一緒に盛り上げてくださいました。

医務だより ~インフルエンザの予防~

インフルエンザの予防

◎インフルエンザの潜伏期間

インフルエンザの潜伏期間は1~2日

発症する1日前から発症後5~7日頃まで周りの人にうつしてしまう可能性があり、特に発症してから最初の3日間ほどが最も感染力が高いと考えられます。

◎インフルエンザの症状

●38℃を越える高熱がある（平熱の低い人は高熱が出ないこともある）
いわゆる風邪とインフルエンザの症状は、咳、喉の痛み、発熱するなどは変わりません。違うのは体温上昇の程度です。インフルエンザでは発熱するとすぐに38℃を越えてしまいます。

人の体温は目覚めたときより夕方の方が高くなりますが、朝から38℃以上の発熱があった場合は要注意です。

- 寒気・震え ●関節痛・筋肉痛 ●喉の痛み
- 頭痛、倦怠感 ●くしゃみ、鼻水 ●咳（起こらない場合もある）

◎インフルエンザ完治後の集団生活

熱が下がっても、2日間は他の人に感染させる可能性があります。

治っても2日間は、外出を控えましょう。

◎インフルエンザの予防



マスク



うがい・手洗い



咳エチケット

スヌーズレン器具を寄附していただきました！

12月11日（火）、東京板橋ロータリークラブからスヌーズレン器具のご寄附をいただき、その贈呈式を三園福祉園で行いました。当日はロータリークラブ平井会長や板橋区の橋本副区長、当法人の理事長も出席され、目録と感謝状の贈呈が行われた後、園からのお礼として「ありがとう」を全員で合唱しました。

スヌーズレンとは、『スヌッフレン…ククン匂いを嗅ぐ=動を表す』『ドゥースレン…ウトウトする=静を表す』という2つの用語を掛け合わせた造語で、1970年代にオランダで重い知的障害がある方の余暇活動として始まりました。三園福祉園では初年度から活動の中にスヌーズレンを取り入れており、今ではどこでもスヌーズレンを行えるよう、すべての活動室に外からの光を遮断するための遮光カーテンを設置しています。

後日届いたスヌーズレン器具は、すぐに各グループの活動で使われていて、利用者みなさんにも大変好評です。

この場をお借りして東京板橋ロータリークラブ様に感謝申し上げます。



